

第 105 回 薬剤師国家試験問題検討委員会
「病態・薬物治療」部会 報告書

令和 2 年 6 月 3 日

委員長名 小 山 進
所属大学 第一薬科大学

1. 総合評価

アンケート実施期間：令和 2 年 3 月 16 日（月）～4 月 10 日（金）

回答校：53 校（私立大学 43 校、国公立大学 10 校）

(1) 評価される点

回答校のうちの 44 校（83%）に、第 105 回薬剤師国家試験問題は適切であり、良問が多かったとの記載がみられた。

- ・難易度：例年と同等の難易度及び内容であるとの評価が多数を占めた。やや難易度が高かったとの評価もあったが、その理由として、暗記だけでは正解出来ない読解力や思考力を含む受験生の総合的知識を問う問題が多かった点が挙げられる。また、臨床現場で必要な判断力を求める問題が多かったことも、難易度が上がった理由のひとつと考えられる。
- ・バランス：病態と薬物治療の配分、8 大疾患を意識した出題なども概ね妥当であった。統計に関する問題数はここ数年同様であるが、内容的には以前より洗練されている印象を受ける。病態・薬物治療学と薬理学との連問は自然であり、この傾向を歓迎したい。
- ・今後の方向性：薬剤師としての資質を問うような実践的で論理力を必要とする問題が多く出題されており、求められる薬剤師像が暗示されている結果ではないかと推察される。大学は国家試験出題者の意図も教育に反映させ、具体的には、症候や検査を広く学習させる必要がある。

(2) 改善すべき点

問題の出題形式や内容に関して以下のような指摘があった。

- ・解答に不要な情報を含むリード文を、試験時間にみあった長さに収める。
- ・各疾患の細部を問う、あるいは、診断を要求されるなど、医師に求められ

る領域の問題を避ける。

- ・学問的にエビデンスの確立していない事項を問うのは好ましくない（理論問題 問 184）。
- ・現在ほとんど使用されていない薬剤に関する設問を避ける（理論問題 問 186）。
- ・統計に関する問題は、専門家による良問を期待したい。

2. 各項目評価

アンケート実施期間：令和 2 年 3 月 16 日（月）～4 月 10 日（金）

回答校：62 校

評価：62 校中 5 校以上から共通する指摘を受けたアンケート記載を以下に抜粋した。

1) 誤りがあると指摘された問題

問 192（6 校）CHOP 療法とリツキシマブの併用が有効な非ホジキンリンパ腫は B 細胞性の病型であり、節外性 NK/T 細胞リンパ腫には用いられないので、選択肢 5 は必ずしも「正しい」とはいえない。

2) 問題の観点から不適切である問題

問 66（9 校）必須問題において、モルヒネ換算比を問うのは難易度が高すぎる。

問 184（9 校）「妊娠悪阻」の正確な発生機序に関しては不明な点が多いにもかかわらず、問題文には断定的な表現が多い。

問 190（6 校）「せん妄」は従来为国家試験でも度々登場しているが、その内容を詳細に問う問題は難易度が高すぎる。

3) 問題・選択肢の表現が不適切である問題

問 65（9 校）該当しない症状よりも、典型的な症状を選択させる方が良い。

問 163（6 校）胸部レントゲンで確認できるのは、「心肥大」でなく「心拡大」である。

問 188（9 校）薬効持続時間の短縮に関してエンタカポンを併用するが、ジスキネジアへの言及が無いので、レボドパ・カルビドパ配合剤を減量すべきとは言い切れない。

問 193（8 校）危険率と有意水準を混同して使用している。

問 289（5 校）本症例の病歴に鉄欠乏性貧血を疑う症状に関する記載が無い

め、症状の改善が生じたか否かの判断が出来ない。
問 300 (9 校) 骨吸収マーカーに関して問題文に記載が無い。

4) 複合性が不適切な問題

なし

5) 授業で触れていない問題

問 66 (9 校)、問 184 (7 校)、問 187 (6 校)、問 189 (5 校)、問 190 (6 校)、
問 286 (5 校)、問 296 (7 校)

6) 各問題の評価

別紙 1 のとおり

別紙1 第105回薬剤師国家試験問題「病態・薬物治療」部会 評価表

	番号	誤り			適切性			表現			授業で教えて		
		ある	ない	わからない	不適切	適切	わからない	不適切	適切	わからない	いない	いる	一部 いない
必須問題	56	0	59	0	0	59	0	5	53	1	1	57	1
	57	0	60	0	0	60	0	1	58	1	0	58	2
	58	1	57	2	1	58	1	3	56	1	0	57	3
	59	0	61	0	0	61	0	0	60	1	1	57	3
	60	0	61	0	2	56	3	1	59	1	3	52	6
	61	0	61	0	1	59	1	1	58	2	0	58	3
	62	1	59	1	0	59	2	1	58	2	2	53	6
	63	0	62	0	5	51	6	3	59	0	0	59	3
	64	1	61	0	0	62	0	3	59	0	0	60	2
	65	1	61	0	4	56	2	9	49	4	1	58	3
	66	0	61	1	9	44	9	2	55	5	9	38	15
	67	0	62	0	1	59	2	3	58	1	0	57	5
	68	0	62	0	1	57	2	2	57	1	2	54	4
	69	1	59	0	0	60	0	0	58	2	1	58	1
70	0	61	0	2	58	1	1	60	0	3	57	1	
一般問題 (薬学理論問題)	163	2	57	0	0	59	0	6	52	1	0	54	5
	166	2	56	1	1	57	1	4	53	2	1	55	3
	167	1	58	0	1	58	0	3	56	0	0	56	3
	184	1	54	5	9	42	9	11	44	5	7	30	23
	185	3	56	1	1	58	1	4	56	0	0	58	2
	186	0	60	0	0	58	2	1	58	1	2	50	8
	187	0	58	3	2	53	6	3	55	3	6	45	10
	188	0	58	3	1	58	2	9	49	3	1	54	6
	189	1	57	1	4	51	4	4	52	3	5	34	20
	190	1	58	1	6	51	3	2	56	2	6	39	15
	191	0	60	1	0	61	0	3	56	2	0	58	3
	192	6	52	3	4	55	2	8	49	4	0	53	8
	193	4	53	2	2	53	4	8	47	4	3	54	2
194	2	56	1	3	53	3	4	54	1	4	51	4	
195	0	61	0	0	60	1	2	58	1	0	59	2	

	番号	誤り			適切性			表現			複合性			授業で教えて		
		ある	ない	わからない	不適切	適切	わからない	不適切	適切	わからない	不適切	適切	わからない	いない	いる	一部 いない
一般問題 (薬学実践問題)	286	0	59	3	3	56	3	2	57	3	1	60	1	5	46	10
	289	2	59	1	1	58	3	5	55	2	4	54	4	2	58	2
	290	1	60	0	2	59	0	2	57	2	1	59	1	1	52	8
	293	1	58	2	2	57	2	2	55	4	3	53	5	0	56	5
	294	0	60	1	3	55	3	2	55	4	1	59	1	1	54	6
	296	0	62	0	2	55	5	3	57	2	2	55	5	7	47	8
	298	1	60	2	3	58	2	4	58	1	2	58	3	1	58	4
	300	4	56	2	4	57	1	9	48	5	0	60	2	0	56	6
	302	1	59	0	1	57	2	3	54	3	1	57	2	4	42	14
	304	0	59	3	3	56	3	2	59	1	2	58	2	4	48	10

(注) 数字は回答大学数である。